

2024年 G/W 前半 磐梯山報告書

日程：4月27日(土)～29日(月)

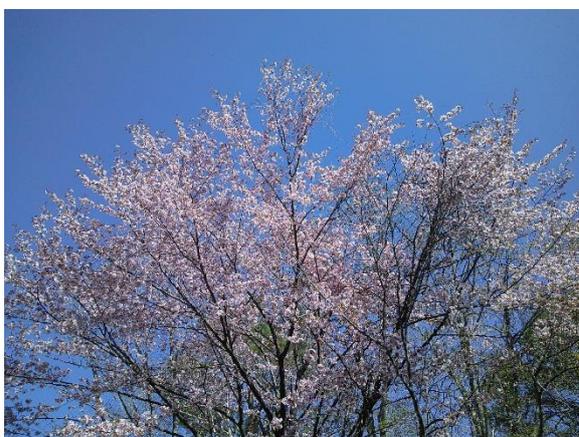
メンバー：K林(単独)

4月27日(土)

東北新幹線で郡山まで行き、磐越西線で猪苗代駅まで。新幹線は自由席に並んで座れたが、磐越西線は混んでいて座れなかった。連休初日なので新幹線の中で一人でビールで乾杯。猪苗代駅でバスに乗ろうとしたら乗る予定のバスは平日のみ運行。ちっまたやってしまった。1時間以上待ってバスに乗り「小野川湖入口」で下車。コンビニで酒を買って休暇村裏磐梯キャンプ場まで30分弱歩いてフリーサイトにテントを張る。一張り一泊 2600円。暖かいので外で夕食を食べようとしたら小雨が降ってきたのでテントの中で夕食。読書しながら酒をちびちび飲んで寝た。

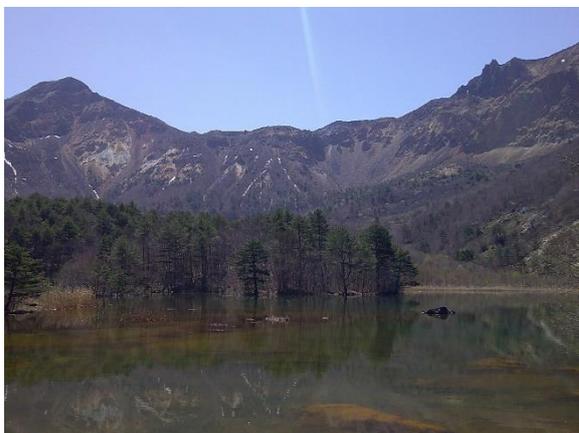
4月28日(日)

高原のキャンプ場の朝は実に気持ちが良い。裏磐梯高原駅方面の始発のバスが遅いので朝食を食べてゆっくり出発。8時48分のバスに乗って「裏磐梯高原駅」で降りて歩き出す。



スキー場への道沿いに まだ桜が残っていて青空とのコントラストが見事だ。スキー場のリフト沿いの かすかな踏み跡をたどってスキー場のトップまで。ここからが本格的な登山道。

大きく成長したフキノトウが一面に咲き乱れて中々奇麗だ。風が全くなく、日光をさえぎるものも何もなくメチャクチャ暑い。



熱中症になるのを避けるために山頂までタオルでほっかむりして歩いた。外見を気にしてはいられない。猪苗代湖側から見る磐梯山は奇麗な円錐形に近いが、裏磐梯側から見ると火口が大きく えぐれてダイナミックな地形で中々格好が良い。

途中からちらほら雪が出始めたが気温が高かったので解けた水が登山道を川のように流れていたり、水たまりになっていたりで道はぐちゃぐちゃだ。ともかく暑くてペースが

全く上がらない。弘法清水小屋に着いたら何と小屋の売店が開いていてびっくり。ここから山頂までの急な登りは結構雪が残っていたが、腐っているのでストックのみで十分。12本爪アイゼンは最後まで出番が無かった。何とか山頂までたどり着いて一休み。雪を被った飯豊連峰が近くに見える。



川上温泉に下山して温泉に浸ろうと思っていたが、登りで全く稼げなかったので、バスの時間を考えると下山でコースタイムを30分以上縮めないと温泉に浸れない。ゆっくり休む時間も無く下山開始。弘法清水小屋の横で流れている冷たい雪解け水を汲んで川上方面に下る。こちらの道は石ゴロゴロの歩きにくい道が延々と続く。部分的に火口壁の上を歩くので下を覗くと中々の光景。途中で

日本カモシカに逢う事ができた。長い長い石ゴロゴロの急斜面を下ると広い河原のような所に出たが この先の登山道が不鮮明で実に判りにくい。こまめに巻いてあるテープを目印に歩くが、普通に歩いているとあたりまえのようにコースを外れてしまう。GPSが無いとちょっと怖いなと思った。おまけにこの冬の雪と風で倒れた灌木がそこら中で道を塞いでいる。一般登山道でここまで荒れているのも中々無いだろう。ほとんど人にも会わなかった。延々と歩いて最後の川上登山口と川上温泉方面の分岐に着くと何と川上温泉方面の道はロープが張ってあり通行止め。どうも自分の地図が古く、数年前から廃道になっているようだ。GPS頼りに川上温泉まで歩く事はできると思ったが、ここまでの道の荒れ具合を考えると廃道を歩く気にならず、温泉を諦めて川上登山口方面に下る。ここまで温泉目当てで気合を入れて歩いたが一気にペースダウンして だらだら下って国道に出た。いやー日帰りの割には長かった。

自販機で買った冷たいジュースが実に旨い。バスで「小野川湖入口」に戻って またコンビニで酒を買ってキャンプ場に戻る。このキャンプ場はアルコール類が売っていないので バス停の前にコンビニがあるのが本当にありがたい。GPSのログを見たら今日一日だけで15km歩いていた。キャンプ場のシャワーで汗を流して、夕食を食べて また読書しながら酒をちびちび飲んで寝た。

4月29日(月)

今日は帰るだけ。バスで猪苗代駅に出て、磐越西線で郡山まで戻り、新幹線に乗らずに普通列車を4本乗り継いで「飲み鉄旅」したが、郡山でしか酒が買えず ちと物足りなかった。数年ぶりに百名山を一つ消化したが、このペースだと死ぬまでに終わらない。それにしても暑い暑いG/W前半だった。